

まちづくりの友

茨木市民憲章

わたくしたち 茨木市民は
一、心をあわせて

あすの力をそだてましょう

一、 明るい家庭をきずきましょう
環境をととのえて

美しいまちをつくりましょう
一、きまわりをまもって

良い風習をひろめましょう

みんなの文化をたかめましょう

編集・発行 茨木市住みよいまちづくり協議会

事務局

茨木市市民文化部地域コミュニティ課内
電話:072-620-1604(ダイヤルイン) FAX:072-620-1715
E-mail:community@city.ibaraki.lg.jp

年末市内一斉清掃を実施 約2万人が参加

詳しくは2pへ



福岡市長あいさつ



西川会長あいさつ



みなさんのご協力により、まちがきれいになりました

[illegible]

環境部会

年末市内一斉清掃



市内全域で、自治会・老人クラブなど368団体 20,590人が参加！
皆さんの力で、市全体のごみ収集量は、42.1ト(収集車両延べ40台分)

年末市内一斉清掃が、昨年12月3日(日)(地域によっては別日)に市内全域で実施されました。当日は、天候にめぐまれ、たくさんの人が集まりました。セレモニーを行った後、(株)ハウスビルシステム、NPO法人コンパストウキョウジャパン、西日本高速道路エンジニアリング関西(株)大阪点検事務所、西日本高速道路ファシリティーズ(株)、株式会社ジェイコムウエスト、第一生命保険(株)、澁澤倉庫(株)、構成団体、市職員、本協議会役員等197人がJR・阪急両駅・総持寺駅周辺等の主要道路の清掃を実施しました。

また、構成団体である自治会等については、今回、368団体、20,590人が参加されました。ありがとうございます。

市内一斉清掃は、茨木市の恒例行事として続いてきた歴史ある行事です。これほど多くの参加者が集い継続できているのは、地域をきれいにしようという皆さんの気持ちがあってこそです。今後も、市民憲章の「環境をととのえて美しいまちをつくりましょう」の実践活動として、清掃活動や緑化推進などに取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



年末市内一斉清掃用ごみ袋の協賛金についてご協力をいただきありがとうございました。

年末市内一斉清掃で使用するごみ袋について、下記の29団体・企業に協賛金のご協力をいただきました。ご協力いただきました協賛金は80万円で、環境にやさしいバイオマス製のごみ袋19,000枚を作成し、清掃実施自治会・老人クラブへ配布するとともに、当日の清掃活動にも使用し有意義に活用いたしました。

【協賛にご協力いただいた団体・企業】敬称略

茨木商工会議所、茨木市商業団体連合会、茨木市委託ゴミ業務品質向上協議会、(一社)茨木青年会議所、茨木フェスティバル協会、茨木オークリオンズクラブ、ロータリークラブ(茨木・茨木東・茨木西)、茨木ローズライオンズクラブ、ゴウダ(株)、橋本食糧工業(株)、北おおさか信用金庫、日東電工(株)、エスケー化研(株)、(株)掛谷工務店、日本たばこ産業(株)、(株)神戸製鋼所、(株)吉野工業所、東洋製罐(株)、大和製罐(株)、大和運送(株)、早稲田摂陵高等学校、向陽台高等学校、追手門学院大学・校友会、藍野大学・藍野大学短期大学部・藍野高等学校、立命館大学、大阪行岡医療大学、梅花女子大学、茨木市農業振興団体連合会・茨木市花卉園芸振興会

★本協議会では、協賛金を募集しております。協賛金のお申込は、事務局(市・地域コミュニティ課:072-620-1604)までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

迷惑駐車防止ビラ

迷惑駐車を減らして、安全な住みよいまちづくりを推進するために「迷惑駐車防止用ビラ」の配布を行っています。「迷惑駐車防止用ビラ」が必要な場合は、事務局までご連絡ください。

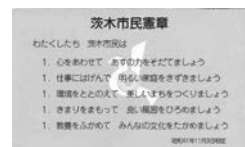


事務局(茨木市 地域コミュニティ課)
TEL 072-620-1604

市民憲章

市民憲章は、茨木市民としての市民性を高め、より住みよい地域社会をつくるため、市民一人ひとりの生活信条の指針として、市民の自発的な総意に基づいて、昭和41年に定められたものです。市民憲章を更に広めるため、推進活動の一環として唱和に必要なカードの配布を行っています。市民憲章カードが必要な場合は、事務局までご連絡ください。

事務局(茨木市 地域コミュニティ課)
TEL 072-620-1604



総務部会

市民憲章運動推進第57回全国大会 鶴岡大会参加報告

令和5年10月21日(土)、山形県鶴岡市で「虹をかけよう、やさしい心で～ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい持続可能なまちをめざして～」をテーマに、全国大会が開催されました。鶴岡の歴史と精神文化を紹介する構成吟「藤沢周平のふるさと 出羽庄内 鶴岡の風」で幕開けし、こどもたちによる庄内論語の素読や空手の演武、詩吟などが披露されました。市民憲章運動研究の第一人者 三輪 真之氏の活動発表もあり、今後のまちづくり活動について、大変勉強になりました。



風習部会

自転車マナー・交通マナースクール

「自転車マナー・交通マナースクール」を昨年11月8日に茨木小学校、12月6日に西河原小学校、12月13日に西小学校において、日本自動車連盟(JAF)の協力のもと開催しました。JAFの皆さまには、自動車を持ち込んでいただき、自動車の運転手から見た死角や制動等の実験や、安全な自転車マナーを教えていただきました。車はすぐには停まらないこと、運転手には死角が多くあることなど、学ぶことがたくさんありました。参加したこどもたちには、自転車の交



風習部会

「安全・安心まちづくりの日」キャンペーン

「安全・安心まちづくりの日キャンペーン」を昨年8月10日にイオンモール茨木店、10月12日に阪急茨木市駅前周辺において、防犯協会と合同で実施しました。当日は、自転車前かごカバーや特殊詐欺被害防止に関するチラシを配付しました。結果、たくさんのかたに自転車前かごカバーを配布することができました。



様々な出会いがある空間 おにクル

2023年11月26日にオープンした
新施設・広場「おにクル」を大学生2人が
見学し、インタビューを行いました！



本と繋がる空間作り

図書館「おにクルぶっくぱーく」は公園のような雰囲気で、「縦の道」周りや各階のテラスなど好きな場所で気軽に本を読むことができます。また、ぶっくぱーくは5階、6階がメインフロアですが、2階から7階までの各階にもフロアのテーマに沿った本を置くことで、誰もが本に親しみやすい空間となっています。

様々な魅力が詰まった「きたしんホール」

市民利用はもちろん、プロユースにもしっかり対応できる高水準の照明・音響機器を備えたゴウダホール（大ホール）ときたしんホール（多目的ホール）。見学した「きたしんホール」は「ボックスインボックス構造」で作られており、この構造は、遮音性にとても優れていてホール内の音が外に漏れにくくなっています。

また、ホール北側のガラスの壁は可動式であるため、開放することでエントランスと一体的に使え、より多くの人々がホールでの催しや活動に出会うことができる場所になるという魅力があります。



こどもと大人が共に過ごせる場所作り

1階の屋内こども広場「まちなかの森 もっくる」は、木を基調とした遊び場で茨木の木材を活用した遊具やボールプールが設置されています。もっくるには常に育児コンシェルジュ（保育士）がいてこどもに遊び方を教え、時には育児の相談などの対応も行っています。2階のこども支援センターでは、妊娠・出産・子育てのサービスをワンストップで提供しています。

また、子育てフリースペース「わっくる」には、茨木出身で映像作家の山城大督さんが制作した映像作品「ワンダー・ウォール」があるほか、テラスには、スタジオジブリの「耳をすませば」の背景画を手がけた市内在住の井上直久さんがデザイン監修した「おはなしのいえ」があります。おはなしのいえは「こどもたちと絵本の出会いの場」をテーマにしています。



おにクルの担当職員に取材しました

Q 「おにクル」の理想の将来像やこれから期待することは何ですか？

A 複合施設としての魅力を発揮できるよう、各機能間の連携を日常的に行えるような施設としていきたいです。

Q 今後の目標と達成するための取り組みはありますか？

A 開館1年間で、茨木市民28万人全員がおにクルに来ることです。
「おにクル」について知らない層に「こんな企画・イベントがあるなら来たい」と思ってもらえるような、色んな角度からの事業を展開していきます。

学生からの感想



追手門学院大学
山本 実咲さん

今回「おにクル」の見学を通じて、誰もが利用したくなるような幅広い世代の方の憩いの場となると感じました。今回一番印象に残っていることは、各フロアのカーテンの色や質感をすべて変えていることです。その場所のコンセプトに応じたものにするすることで、利用する人がより楽しめると共に温かみを感じられ過ごしやすい空間を作っていると思いました。多様な機能が集まり、沢山の魅力がある「おにクル」が今後、より多くの人に愛される施設になっていけば良いなと感じています。

今回、「おにクル」を見学して人々が自然と足を運びたくなるような場だと感じました。「おにクル」が開館して以降、多くの人で賑わう場となり、赤ちゃんからお年寄りまで様々な世代がひとつの場に集う様子を見て、人々にとって一息つける場所になっているのではないかと考えました。こどもの笑い声が響き渡り、お年寄りが談笑している空間。今後、「おにクル」が1年2年と歳を重ねるにつれて足を運ぶ人が増えていけばいいなと感じています。



追手門学院大学
鎌谷 真衣さん

楽しい紙面を一緒に作ってくれる学生さんを募集しています。

詳しくは事務局までお問い合わせください。

事務局(茨木市 地域コミュニティ課)

TEL 072-620-1604

メール community@city.ibaraki.lg.jp

オンラインで申請される方はこちらから

<https://logoform.jp/form/2Qoq/469977>



市民活動グループの活動に参加してみませんか

茨木市には、地域で活動する市民活動グループが多くあります。興味のある活動に参加してみませんか？

NPO 法人茨木シニア ICT アソシエーション

●活動目的

シニアの皆さんがスマホ操作スキルを身につけ、ご自身の生活を快適に便利にされたり、社会参加の促進に貢献することを目的に活動しています。また、同年代のシニアの皆さんが、講師やサポーター役となりスマホ操作をお教えすることで新たな活躍の場にさせていただくことも目的としています。

●活動内容

23年度はシニアプラザいばらきで開催しているシニアカレッジ「いこいこ未来塾」、ICT出前講座、生涯学習センター開催の講座、市老連主催講座、ローズ WAMでの自主講座など、延べ講習会を130回、1500人の参加を目指し活動しています。また、シニアプラザいばらきなどでの無料相談会も定期的に開催しています。

●新たに参加される方へのメッセージ

情報ネットワーク社会が益々進化していく中、残念ながら多くのシニアの皆さんがスマホ操作に自信をもててないのが実態です。受講を通じ自信をつけられるシニアの皆さんの笑顔こそが私たちのやり甲斐です。私たちと一緒に活動しませんか。お待ちしております。

●連絡先

代表 中村敬司 TEL 080-1423-5292

Mail: nakayama-mako@amy.hi-ho.ne.jp 担当者: 中山さん



茨木マンドリンクラブ Rose

●活動目的

マンドリン演奏を通じて会員の交流親睦を推進し、地域の皆様とのコミュニケーションを図る事を目的として定期演奏会の開催、各種団体や施設への行事参加をする事でボランティア演奏活動を行っております。

●活動内容

毎月2回土曜日の午後(14:00~16:00)主に玉櫛コミュニティセンターにおいて、多武和民先生の指導により練習を行っております。昨年秋には第10回の記念定期演奏会をクリエイトセンターにて開催し多くの方々に楽しんでいただきました。その他市民活動紹介のイベント参加や地域団体からの要請による演奏活動を行っております。

●新たに参加される方へのメッセージ

イタリア生まれのマンドリンはその独特の愛らしいトレモロの音色が魅力で愛好者数では、日本が世界で一番多いと言われている弦楽器です。唱歌、歌謡曲、ポピュラーからクラシック音楽まで幅広く楽しめる取り組み易い楽器なので60の手習いで始められた方も多くおられます。経験の有無は問いません共に気楽に楽器演奏を楽しみましょう。

入会についてご相談下さい。(会費月額 3,500円)

●連絡先

相談役: 大島 俊子 090-8535-3809

Mail: aoki567@hcn.zaq.ne.jp 担当者: 青木さん

